

「役割達成度評価」のねらいは、学校組織のパワーアップです！



ア) 校長先生、役割達成度評価は、どのような手順で行うのですか。

① 目標の連鎖を図り、具体的に評価しやすい目標を立てるために、次の手順で目標を設定しましょう。



例：小学校4年生学級担任(主任ではない)の「学級担任の目標」を設定する場合

1

まず、「学校経営ビジョン」と「重点目標」の連鎖を確認しましょう。

校長作成
(3・4月)

学校経営ビジョン

○ 本年度の重点キーワードとして設定した「学力向上」「読書推進」「体力づくり」の達成に向けて、児童一人一人のよさを最大限伸ばすきめ細かな指導を重視した教育活動の展開を推進する。

重点目標と主な達成手段

- 1 確かな学力の定着
 - ①
- 2 読書活動の推進
 - ① 読み聞かせ等の工夫を通して、読書意欲の向上を図り、.....
 - ② ボランティアの方々との連携を図り、.....
- 3 体力づくり
 - ①

ウ) 「学校経営ビジョン」とは、学校の実態(児童生徒、教職員、地域・保護者等)や前年度の教育的課題等を踏まえ、今年度校長として重点的に取り組むべき内容を示したものです。

エ) 学校経営ビジョンの実現に向けて、具体的な取組を整理したものが「重点目標」となるのですね。

オ) 「重点目標」は、学校評価とも関連がありますが(P13参照)、3～5項目ぐらい設定するようにしています。「重点目標」の項目の中から、学年で取り組むべき内容を学年主任とミーティングします。



2

次に、連鎖を意識して「所属学年の目標」を決定しましょう。

主任作成
(～5月)

所属学年の目標

- 1 基礎・基本の確実な定着
 -
- 2 読書意欲の向上
 - 保護者に読み聞かせボランティアとしての協力をお願いし、「朝の読書活動」の……
 - 係活動等の自主的な活動の工夫を通して、.....

カ) 「重点目標」を具体化するために、学年主任を中心に、「所属学年の目標」を決めるのですね。「所属学年の目標」も学校評価と関連がありそうですね。

キ) 評価のための評価にならないようにするためには、「所属学年の目標」は、2～3項目ぐらいが適当ですね。



3

そして、「学級担任としての目標」を具体的に作成しましょう。

担任作成
(~6月)

期待される役割と役割達成のための手段・ゴールイメージ

- 役割・目標 読書意欲を高め、一人一人の読書量を昨年度より増やす。
- 手段・ゴールイメージ
 - 読み聞かせボランティアと連携して「朝の読書活動」の工夫改善を図り、80%以上の児童の読書貯金を昨年度より増やす。
 - ① 昨年度の読書調査から、自分の特徴や課題を見つけさせ、今年度の目標を設定させる。
 - ② 読書意欲につながる方策について、読み聞かせボランティアと月1回の情報交換会を行い、実践に生かす。



ク 学級担任としては、取り組むべきことや取り組みたいことがたくさんありますが、役割達成度評価においては、「所属学年の目標」や学級の実態等を踏まえて、「学級担任としての目標」を設定するのですね。

ケ 評価する際に、取組状況や成果・課題が明確になるためには、手段・ゴールイメージができるだけ具体的なものを設定することが大切です。また、結果が数値化できる取組にすることも大切です。

コ 「学級担任としての目標」の設定ができれば、私と目標設定ミーティングを行い、目標を確定します。



4

最後に、「具体的取組と達成状況」を「自己評価」しましょう。

担任作成
(11月)

具体的取組と達成状況(成果と課題)

- 取組と成果
 - ① 読み聞かせボランティアの方々と連携して、「ジャンル別読み聞かせ」や「ブックトーク」に取り組むことにより、「読書が好き」と答える児童が45%から80%になった。
 - ② 自分の目標を設定させたことにより、90%の児童の読書のジャンルの数が増えるとともに、昨年度より読書貯金が増えた児童が85%であった。
 - ③ 読み聞かせボランティアの方々との情報交換会は、できない月もあったが、読書通信等で、新しいアイデアについての情報を共有でき、実践に生かすことができた。
- 課題

カ 「具体的取組と達成状況」と「自己評価」は、どのようなことに注意すればいいのですか。



シ 上記のように、児童のアンケート調査等により成果を数値化したり、取組について具体的に記入したりすることが大切です。そのことが、「自己評価」(P20参照)する際の根拠や理由になります。

ス 役割達成度評価は、学校組織のパワーアップがねらいです。全教職員で協力しながら、学校を組織として向上させていきましょう。

